

宮城県

⑨ 有限会社ヒーロー

連携領域: 農 商 工 学 官 他

ここがポイント: 異業種が強みを活かしかうヒーロー式農業で、環境・健康・経済に貢献

連携のテーマ

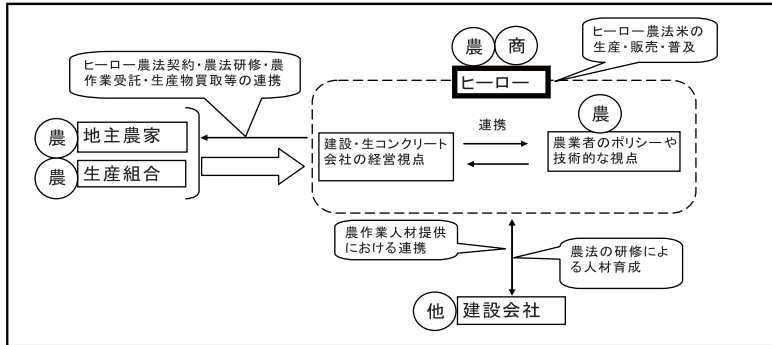
- 販路開拓
- 生産性向上
- 新商品開発
- 人材育成
- ブランド化
- 商品の差別化
- 品質管理
- 資金調達
- 環境対応(循環型等)
- その他()

連携の現状



ヒーロー農法により生産されたお米

<連携の体制図>



平成15年、建設・生コンクリート会社5社と農業者が集まって設立。なお、会社設立に参加した各社の経営者は、実家が農家であり農業に対する想いは人一倍強いものがあつた。そのような中、平成の大冷害の中でも独自の農法を貫き、被害もなく高付加価値な米作りを行っていた農家の農法に着目。差別化が可能と判断し、互いに連携しながら農業生産法人の設立を決断。「環境と健康と経済に貢献する本質農業の確立」を理念にかかげる。

会社経営において、核となる米作りの農法については農業者の技術的視点を活かし、ビジネスとしての点については建設・生コンクリート会社の経営的視点を活かすことで、理念の実現を目指している。

数々の賞を受賞し全国的に評価の高い専業農家の環境にもやさしい農法(無農薬・無化学肥料)を導入し(ヒーロー農法)、理念や農法に共感する農家との連携を通じて高品質の米を生産している(ヒーロー農法米と呼ぶ)。

また生産面においても建設会社とも連携し、建設会社従業員にも研修を行いながら、ヒーロー農法に基づいた農作業を行っている。

連携の成果

<連携によって実現されたイノベーション>

- 新たな製品やサービスの提供
- 新たな生産方法の開発
- 新たな市場開拓
- 新たな原材料や半製品の供給源の開発
- 独占的地位などの新たな組織の出現、または独占の打破

<連携による自社への効果>

売上は毎年10%前後伸びている。また、無農薬・無化学肥料栽培開始から5年経過し、5年経過し、有機JAS米として流通している。ヒーローでは農法転換1年目の特別栽培米を「源(みなもと)」、2年目を「翔(はばたき)」、3年目を以降を有機栽培米「極(きわみ)」、そして最上級品質「超(あたら)」の安定生産とブランド化を目指している。

<連携による各事業者のメリットと地域への効果>

農家にとっては、付加価値の高い米の生産による経済効果だけでなく、農業への取り組みが積極的になってきている。建設会社にとっては、公共事業が削減される中、連携による農作業への参画で、経済的効果が生み出されている。地域全体では、異業種参入により、農業の産業としての意識が出始めている。

<今後の方向性>

異業種が強みを活かしかう「企業式農業」と経済的成功で、農業の自立と後継者であるべき若者の帰農現象を目指す。

基本情報

事業者概要: 農地集約による有機・無農薬・活性酸素除去米(野菜)の生産販売
 経営理念: 有機と活性酸素除去で、環境と健康と経済に寄与する本質農業の確立を目指す
 住所・連絡先: 宮城県大崎市古川江合本町3-1-1 TEL0229-23-7970
 従業員数: 2名 設立: 平成15年12月 代表者: 代表取締役社長 石ヶ森 信幸

販路
生産性
新商品
育成
ブランド
差別化
品質
環境